

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-325139
(P2000-325139A)

(43)公開日 平成12年11月28日 (2000. 11. 28)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
A 4 5 D 34/04	5 1 0	A 4 5 D 34/04	5 1 0 A
A 4 6 B 3/18		A 4 6 B 3/18	

審査請求 未請求 請求項の数7 O L (全 3 頁)

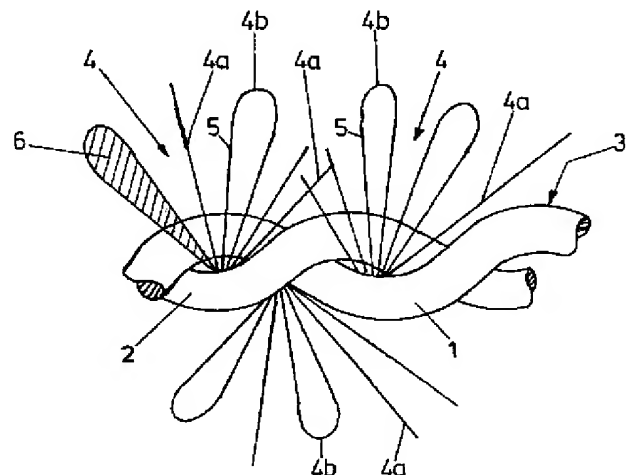
(21)出願番号	特願2000-137054(P2000-137054)	(71)出願人	598013851 ゲオルク カール ゲーカ・ブルシュ ゲ ゼルシャフト ミット ベシュレンクテル ハフツング ドイツ連邦共和国 デー・91572 ベヒホ ーフェン・ヴァイツェンドルフ (番地な し)
(22)出願日	平成12年5月10日(2000. 5. 10)	(72)発明者	ノルベルト ドウムラー ドイツ連邦共和国 デー・91522 アンス バッハ ザウアーブルッフシュトラーセ 8
(31)優先権主張番号	1 9 9 2 2 7 0 6 : 3	(74)代理人	100063130 弁理士 伊藤 武久 (外1名)
(32)優先日	平成11年5月18日(1999. 5. 18)		
(33)優先権主張国	ドイツ (D E)		

(54)【発明の名称】 マスカラ・ブラシ

(57)【要約】

【課題】 2本の捻じり合わされたワイヤー片の間に保持された多数の剛毛(ブラシの毛)を備えてなるマスカラ・ブラシが最適な移送特性を有すること。

【解決手段】 2本の捻じり合わされたワイヤー片の間に保持された多数のブラシの毛が少なくとも部分的に、ループを形成していること。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 2本の捻じり合わされたワイヤー片の間に保持された多数の剛毛（ブラシの毛）を備えてなるマスカラ・ブラシにおいて、上記ブラシの毛（4）が少なくとも部分的に、ループ（5）を形成していることを特徴とするマスカラ・ブラシ。

【請求項2】 ブラシの毛（4）が或る部分（4b）ではループを形成しており、且つ別の部分（4a）は従来通りに外に向かって延びていることを特徴とする請求項1に記載のマスカラ・ブラシ。

【請求項3】 縦方向において、ループ（5）を成した部分と放射状に延びるブラシの毛（4）を有する部分を備えていることを特徴とする請求項2に記載のマスカラ・ブラシ。

【請求項4】 外周方向において、ループ（5）を成した部分と放射状に延びるブラシの毛（4）を有する部分を備えていることを特徴とする請求項2に記載のマスカラ・ブラシ。

【請求項5】 ループ（5）の半径方向の長さとは放射状に突き出るブラシの毛（4）の長さに差異があることを特徴とする請求項2に記載のマスカラ・ブラシ。

【請求項6】 ループ（5）がハの字構成を形成しながら、それ自身に捻じり合わされていることを特徴とする請求項1に記載のマスカラ・ブラシ。

【請求項7】 ループ（5）で張られた面が、捻じり合わされたワイヤーにより画定された縦軸に対して種々の異なる角度で傾斜していることを特徴とする請求項1に記載のマスカラ・ブラシ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、2本の捻じり合わされたワイヤー片の間に保持された複数の剛毛（ブラシの毛）を備えてなるマスカラ・ブラシに関するものである。

【0002】

【従来の技術】この種のマスカラ・ブラシはマスカラ液を保存容器からユーザーのまつ毛に移すのに用いられる。小型ブラシを用いてマスカラ液を塗布する際、ブラシが一方では良好な移送能力を有し、また他方では十分なコーミング（梳き）特性と分離特性を有していることが重要である。

【0003】この種のマスカラ・ブラシの特性をを最大限に利用し、特性を差別化するために、色々な剛毛（ブラシの毛）素材、或いは異なる剛毛をミックスしたものが用いられることが知られている。

【0004】DE4446521A1より、捻じり合わされたワイヤー片で構成された芯（コア）がループを形成するに湾曲しているマスカラ・ブラシが公知である。DE3835843A1には結合剤を溶かし去ることで

分割可能なファイバーを有するマスカラ・ブラシが記載されている。

【0005】DE19847733ではブラシの毛の先端の包絡線が、芯の凸状に盛り上がった側では縦断面においてほぼ円弧状であり、芯の凹状に窪んだ側では少なくとも交線乃至セクションラインに沿ってほぼ線状であることが開示されている。

【0006】DE29618479Uには、ブラシの毛が一方では横断面で見て非対称的に、捻じり合わされたワイヤー片から一方の側では短く、他方の側では長く延びるようにカットされており、また他方では縦断面で見て同様に非対称的に、ブラシの毛が異なる長さを有するようにカットされていることが記載されている。

【0007】DE9316562Uより、捻じり合わされたワイヤー片からなる芯がもう一度それ自身に捻じり合わされ、筒状の中空の空間を形成する小型ブラシが知られている。

【0008】

【発明が解決しようとする課題】そこで本発明の根底をなす課題は、冒頭に述べた種類のマスカラ・ブラシを、良好なコーミング効果の下で、とりわけ最適な移送能力を達成するように具現化することである。

【0009】

【課題を解決するための手段】この課題は、ブラシの毛が少なくとも部分的にループを形成することにより解決される。換言すれば、そのようなブラシの毛においては、ワイヤー片の間に挟み込まれず外方に延びる自由端がなく、むしろ端も同様にワイヤー片に挟み込まれているため、ループ状の閉鎖された構成を成している。マスカラ液の付着により、小型ブラシを容器から引き出す際、これらループに薄い膜が張られる。この被膜はほぼ完全にループを塞ぎ、塗布する際、まつ毛に触れるまで破れることがないので、比較的多量のマスカラ液を供することが可能である。

【0010】ブラシの毛のある部分はループを形成し、また別の部分は従来通り外に向かって放射状に延びていればより好ましい。これらの外へ向かって延びその長さと径の選択によってその剛性を調節することが可能なブラシの毛により、最適なコーミング効果が得られる。また一方で、ループ形状のブラシの毛により最適な移送能力が得られる。

【0011】この実施例の更なる展開としては、縦乃至長手方向において、ループを有する部分と放射状に延びるブラシの毛を有する部分を備えることが考慮に入れられる。その結果ユーザーは、例えばマスカラ液を塗布するためにまず、ループを有する部分をまつ毛に接触させ、次に引き続いて、放射状に延びるブラシの毛を有する部分でまつ毛をコーミングすることが可能である。

【0012】ループの半径方向の長さとは放射状に延びるブラシの毛の長さに差異があれば有利である。例えば、

放射状に延びる或いは突き出るブラシの毛はその長さにおいて、ループの長さを上回ることが可能であり、その結果、最適なコーミング効果が生じる。

【0013】別の実施形態では、ループが、例えば八の字結びの構成 (figure eight configuration) を形成しながら、それ自身に捻じり合わされていることが考慮される。それによりループの表面を実質的に調節することが可能である。

【0014】更には、ループで張られた面、つまりループによって形成された面 (ループ面) が、捻じり合わされたワイヤーにより画定された縦軸に対して種々の異なる角度で傾斜していることが考慮される。以下に、本発明を好適な実施例を基に、図面を用いて詳細に説明する。図面は本発明に基づくマスカラ・ブラシの一部の透視図である。

【0015】

【発明の実施の形態】部分的に図示されているマスカラ・ブラシは相互に捻じり合わされたワイヤー片1、2を備えてなり、当該ワイヤー片は同様のやり方でワイヤー芯3を形成している。捻じり合わせたワイヤー片1、2により剛毛 (ブラシの毛) 4は固定されている。当該ブラシの毛4の或る部分4aは従来通りに外へ向かって放射状に延び、自由端を有している。その一方でブラシの

毛の別の部分4bはループ5を形成している。

【0016】図中において左端、線影を付けた平面6により暗示されるように、マスカラ容器からこの種の小型ブラシを引き出す際、表面張力によりループ5の内側にマスカラ液の薄い膜が張られ、その結果、最適な移送特性が得られる。これに対して、長く放射状に延びた直線状のブラシの毛4aは、塗布したマスカラ液を均一化する。換言すれば一種のコーミング効果をもたらすのに役立ち、またダマ (塊) になるのを防ぐ。塗布されるマスカラ液の粘性が500から40000ポアズ (poise) の間にある場合、本発明によるマスカラ・ブラシの特性はとりわけ有効に発揮される。

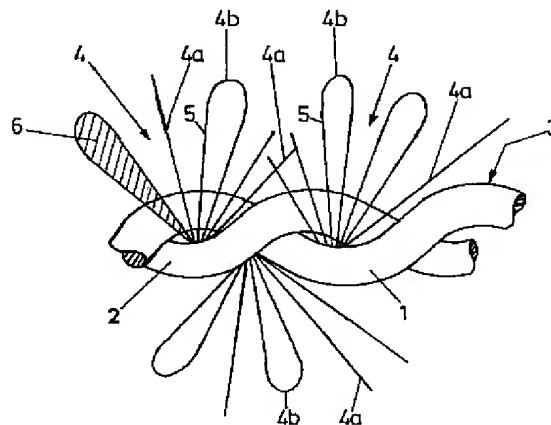
【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に基づくマスカラ・ブラシの一部の透視図である。

【符号の説明】

- | | |
|------|--------------|
| 1, 2 | ワイヤー片 |
| 3 | ワイヤー芯 |
| 4 | ブラシの毛 |
| 4a | 自由端を有するブラシの毛 |
| 4b | ループをなしたブラシの毛 |
| 5 | ループ |
| 6 | マスカラ液の被膜 |

【図1】



PAT-NO: JP02000325139A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2000325139 A
TITLE: MASCARA BRUSH
PUBN-DATE: November 28, 2000

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
DUMLER, NORBERT	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
GEORG KARL GEKA BRUSH GMBH	N/A

APPL-NO: JP2000137054

APPL-DATE: May 10, 2000

PRIORITY-DATA: 9919922706 (May 18, 1999)

INT-CL (IPC): A45D034/04 , A46B003/18

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To achieve particularly optimum transferability of a brush under a good coming effect by forming loops in brush bristles at least partially.

SOLUTION: A mascara brush is provided with mutually twisted wire pieces 1 and 2, and these wire pieces 1 and 2 form a wire core 3 in a

similar manner. Bristles are fixed by the mutually twisted wire pieces 1 and 2. A part 4a of the brush bristles 4 extends outward with free ends as normal. On the other hand, the other part 4b of the brush bristles forms loops. When a small brush of this type is drawn out of a mascara container, thin films of the mascara liquid are formed inside the loops 5 by surface tension, as a result optimum transferability is obtained. On the other hand, straight brush bristles 4a extending long and radially homogenize applied mascara liquid.

COPYRIGHT: (C) 2000, JPO